

## プロテインキナーゼ Cε アイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0575

Lot. No. (See product label)

## はじめに

たホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸(PIP2)およびホスファチジルコリン(PC)からDAGを生成するシグナル伝達[]路によって細胞内で活性化されます。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの[]答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa2+およびホスホリピッドを必要とし、PKC $\alpha$ 、 $\beta$ I、 $\beta$ II、および $\gamma$ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa2+非依存であり、PKC $\delta$ 、 $\epsilon$ 、 $\eta$ 、および $\theta$ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボー

ルエステルによって活性化されず、 $PKC\xi$ 、 $\mu$ 、および $\iota$ が含まれます。

*別名* PRKCE; プロテインキナーゼC、イプシロン; プロテインキナーゼCイプシロン型; PKCE;

nPKC-イプシロン; Ca2+活性化リン脂質依存性セリン-スレオニンキナーゼ、 $\epsilon$ アイソザイム

## 製品情報

**種** 人間

**由来** バキュロウイルスに感染した昆虫細胞

**形態** 緩衝された水性グリセロール溶液

**EC**番号 EC 2.7.1.37

分子量 apparent mol wt 89-96 kDa

純度 >95% (SDS-PAGE)

緩衝液 20mM HEPES、pH 7.4の溶液;2mM EDTA、2mM EGTA、5mM DTT、100mM NaCl、

0.05% Triton X-100、50% グリセロール

代謝□路 B細胞受容体シグナル伝達□路、特定の生物系; CDC42シグナルイベント、特定の生物系; 心筋

細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; DAGおよびIP3シグナル伝達、特定の生物系; 疾患、特定の生物系; 下流シグナル伝達、特定の生物系; ナイーブCD8+ T細胞における下流シグ

ナル伝達、特定の生物系

*機能* ATP結合; SH3ドメイン結合; アクチンモノマー結合; カルシウム非依存性プロテインキナーゼ

C活性; 酵素活性化因子活性; 酵素結合; エタノール結合; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; プロティンキナーゼC活性; プロティンキナーゼ結合; 受容体活性化因子活性; シグナル伝達因

子活性

単位定義 1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKC ε基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送

します。

保管・発送情報

*保存方法* −70°C